

山形農林大学校

同窓会だより

第14号

令和6年9月20日

発行/山形農林大学校同窓会
〒996-0052 新庄市大字角沢1366
(東北農林専門職大学附属農林大学校内)
TEL 0233-22-1528
FAX 0233-23-3119

9月6日金曜日、山形農林大学校創立70周年記念式典に際しましては、御多忙中のところ多くの御来賓・関係機関の皆様を迎え、本校同窓会・教育振興会・学生も参加して盛会のうちに終了することが出来ました。これもひとえに皆様方の暖かい御支援の賜物と感謝し、心から御礼申し上げます。

昭和30年以降、先人たちが築き上げた歴史の重みに深く思いを馳せつつ、4月に開学しました東北農林専門職大学と共に、農業県山形の中核を担う人材育成機関として、なお一層の発展を目指す気持を新たにいたしました。

最近、「スマート農業」という言葉が盛んに使われるようになり、作業ロボットやIoT、AIなどの先端技術が欠かせないものとなってきています。一方では、毎年のように過去最高の記録を更新している猛暑や豪雨などの異常気象へ対応していかね



9月6日金曜日、山形農林大学校創立70周年記念式典に際しましては、御多忙中のところ多くの御来賓・関係機関の皆様を迎え、本校同窓会・教育振興会・学生も参加して盛会のうちに終了することが出来ました。これもひとえに皆様方の暖かい御支援の賜物と感謝し、心から御礼申し上げます。

創立70周年にあたり

同窓会長 庄司 茂 (金山町 昭和48年度卒)

ばなりません。そのためには、同窓会相互のネットワークを活用し、地域農業の活性化やブランド力による産地強化をなされるなど、本県農業のさらなる発展や、災害等のリスク軽減に対応することが必要となります。

なお、「山形県立農林大学校」は校名が「東北農林専門職大学附属農林大学校」と変わりましたが、同窓会は「山形農林大学校同窓会」としてこれからも活動してまいります。今後とも役員一同精進を重ねて参りますので、同窓会員の皆様には、同窓会活動を十分御理解いただき、東北農林専門職大学をパートナーとして、農林大学校の「高度で実践的な人材育成」への支援と、同窓会組織の活性化に一層の御協力をよろしくお願ひ申し上げます。



山形農林大学校 創立70周年と

創立70周年 そして新たなスタート

農林大学校長 佐藤 寧



同窓会の皆様には、日頃より本校の運営に御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

はじめに、去る7月25日に山形県を襲った豪雨で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、本校は今年度70周年を迎え、9月6日に記念式典を盛大に挙行いたしました。昭和30年に経営伝習農場として創立して以来、これまでの伝統と功績を改めて誇りに感じたところがございます。また、貴同窓会からは、農産物等販売用のロッカー式自動販売機を御贈呈賜り、誠にありがとうございました。本校の歴史とともに歩んでくださった皆様の思い出とともに、大切に活用させていただきます。

今年度は、学生定員を60名から40名にするともに、野菜経営学科と花き経営学科を統合するなど運営上の大きな見直しを行いました。同窓会をはじめ様々な方々の御支援と御理解のおかげで、順調に学校運営が続いております。学生達も新しい環境にとっても満足し、実習や希望する進路を実現するため、日々励んでおります。

われわれ職員は、これからも「師弟同行」の精神を忘れず、学生とともに歩み、本県農林業の次代を担う若者を育てていきたいと考えております。

この節目の年にあたり、改めて教育機関としての使命と責任を認識し、次の世代に誇れる大学校を目指してまいりますので、同窓会の皆様の引き続きの御支援、御協力をよろしくお願ひ申し上げます。

母校あねこれ

令和5年度全国農業大学校等プロジェクト発表会で最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞。令和6年2月7日(9日、東京都代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター)で開催された令和5年度全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会に、本校から東日本ブロック代表として畜産経営学科2年の荒木ひかりさん(写真左)が参加しました。プロジェクト発表「自給飼料活用による肥育牛生産技術の検討」では、近年の飼料価格高騰に対応したコスト削減対策について発表し、最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞しました。講評ではプロジェクト発表では現場で実際に使える技術であるということが高い評価につながっているとのコメントをいただきました。



●新校舎に引越す ●今年4月、東北農林専門職大学が開学し、農林大学校と同じ校舎で学ぶことになりました。東北農林専門職大学と農林大学校、両校が共用する新校舎が令和5年12月に完成し、3月9日(10日)に引越すを済ませました。現在は新校舎で授業を行っており、木材をふんだんに使って冷暖房が完備された教室では木の良い香りがします。学生は気持ちを新たに学習に励んでいます。併せて畜舎と畜産現場教室、稲作現場教室、林業現場教室を新築、果樹現場教室を増築しました。新しい現場教室はWiFiが整備され、ICT技術に対応できる環境になり、新牛舎には分娩監視用のカメラや牛恩



恵(分娩・発情監視通報システム)、ファームノートなど新しい機材が導入され、学習環境が整備されました。

●地域連携活動に取り組んでいます ●地域課題をテーマとして、地域の方々と連携した活動を行っています。地域への愛着や誇りを持ち、地域振興への意欲と課題解決能力、コミュニケーション能力を育成し、仲間とともに実践できることを目標として学習に取り組んでいます。

地域協働プロジェクトは各学科単位で7課題実施しています。令和5年度、伝承野菜「西又かぶ」の優良系統の採取を実施し、栽培マニュアルを作成しました(野菜経営学科)。現地では、このマニュアルを活用して生産者の掘り起こしを行う予定です。農産加工経営学科では、地域の主要な農産物であるアスパラガスを活用した加工品として「コロッケ」を提案し、地元業者が製造・販売して道の駅の人気商品となっています。今年度も新たな課題に各学科工夫を凝らして取り組んでいきます。

アスパラコロッケ



山形農林大学校 YouTube

山形農林大学校では、学生の実習風景や活動をYouTubeで紹介しています。現在の学生の様子をご覧いただき、応援ください。

創立70周年記念誌を発刊します

創立70周年記念誌を令和7年2月頃に発刊します。発刊後は同窓会ホームページで閲覧できるようになります。記念誌を冊子として購入希望される方は、現金書留にて2千円(送料込み)を同窓会事務局へお送りください。発刊後速やかに郵送いたします。

郵送先: 〒996-0052 山形県新庄市大字角沢1366 山形農林大学校同窓会事務局
代金: 2,000円(送料込み) 申込〆切: 令和6年12月25日(水)

お知らせ

★同窓生の各種証明書申請手続き 農大ホームページ <https://tpuaf.ac.jp/college/>
「地域・卒業生の皆様へ」をご覧ください。
ホームページをご覧いただけない場合は、電話でも御案内いたします。

☆同期会助成金 ☆同期会を開催する場合、同窓会より助成金として1万円を支給します。
☆農大市場出店・トライアル販売 ☆参加を希望される方は御連絡ください。

【いずれも連絡・申込は…】山形農林大学校同窓会事務局
電話: 0233 (22) 1528 FAX: 0233 (23) 3119



佐藤校長式辞

平山山形県副知事挨拶

庄司同窓会長挨拶

秋葉学生会長挨拶

記念品贈呈

記念祝賀会

記念行事・記念講演
東北農林専門職大学学長
神山修氏（代理小沢学部長）



創立 70 周年記念品

農産物販売用ロッカー式自動販売機 2 基・農大市場改装一式

創立 50 周年にいただいた農大市場を改装し、9月9日(月)より産直館とし、営業を開始しました。学生の販売実習にも活躍が期待されます。

山形農大の新しい 10 年が始まります

創立70周年記念行事が開催されました!

記念式典

農林大学校は令和7年1月13日で70周年を迎えます。新校舎完成のお祝いの意味も含め、令和6年9月6日(金)に記念式典を挙行了いたしました。

記念行事

式典に続き「食料・農業・農村基本法の見直しと求めら

れる農林業を担う人材像」をテーマに東北農林専門職大学の神山修学長より記念講演をいただきました。(代理小沢農林業経営学部長)食料・農業・農村基本法の見直しを踏まえた、今後の農業・農村の展開方向や必要となる人材育成についての示唆がありました。また、専門職大学と農林大学校の特徴の違いはあるものの、地域の農林業を支える人材を育成する使命を果たすために、協力して人材育成に当たる旨の話がありました。

新校舎見学

令和6年4月より供用を開始した新校舎の視察見学を行いました。4階建ての教育研究棟から100haの敷地を見渡しながら、新しい現場教室や設備等について説明を受けました。また、校舎内の教室をはじめ、一般の方でも利用できる学生食堂や附属図書館などを見学しました。特に、附属図書館では農林業関連の書籍が充実しており、気軽に足を運んでみたいなどの声と同窓生から聞かれました。



食堂

エントランス



講義室

新校舎外観

附属図書館